

第4回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 配管減肉分科会 議事録

1. 日 時:2013 年 11 月 14 日(木)13 時 30 分～16 時 35 分
2. 場 所:日本機械学会 第3・4会議室
3. 出席者:井手(東電)、近藤(三菱重工)、山崎(東京 PT)、朝倉(東芝)
代理者:山田[川端(関電)]、乾[大鹿(中電)]
欠席者:なし
オブザーバ:五代儀(火原協)、竹石(東北電力)、青木(東北電力)、橋井(富士電機)、東(富士電機)
事務局:海野(記)

4. 配布資料

- 4-1 . 配管減肉分科会委員名簿
- 4-2 . 第 65 回火力専門委員会議事録(案)
- 4-3 . 第 66 回規格委員会議事録(案)
- 4-4 . 火力専門委員会書面投票結果報告
- 4-5 . 配管減肉分科会活動状況まとめ
- 4-6 . 火力設備配管減肉管理技術規格(2009 年版)改定について
- 4-7 . 新規提案について

5. 議題

(1) 分科会委員・役員の承認

[資料 4-1]

新任候補として五代儀氏(火原協)、竹石氏(東北電力)、橋井氏(富士電機)が推薦され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、再任候補無しと下村委員、堀江委員の退任が報告された。

(2) 報告事項

(2-1) 火力専門委員会報告

[資料 4-2]

第 65 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員長改選手続きについて
- ・ 発電用設備規格委員会倫理規定案の書面投票入り審議について
- ・ 委員会資料の取り扱い内規案の書面投票入り審議について

(2-2) 規格委員会報告

[資料 4-3]

第 66 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告

- ・ 公衆審査のWEB化について
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(2-3)火力専門委員会書面投票結果報告

[資料 4-4]

火力専門委員会にて書面投票を行った3件について結果を報告した。

◎ 書面投票番号:No. 61

投票議案名:「日本機械学会 発電用設備規格委員会 補足倫理規定案」の承認

書面投票期間:2013年9月12日～2013年10月15日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(20 票)の 23 票の投票があり, 投票成立

投票採決:投票数の3分の2以上(16 票)の 22 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 22 名
	反対 0 名
	保留 1 名
	不投票 1 名

◎ 書面投票番号:No. 62

投票議案名:「規格委員会等での資料の取扱い内規の提案」の承認

書面投票期間:2013年9月12日～2013年10月15日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(20 票)の 23 票の投票があり, 投票成立

投票採決:投票数の3分の2以上(16 票)の 23 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 23 名
	反対 0 名
	保留 0 名
	不投票 1 名

◎ 書面投票番号:No. 63

投票議案名:次期火力専門委員会委員長の選任

書面投票期間:2013年10月4日～2013年10月18日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(20 票)の 23 票の投票があり, 投票成立

投票採決:投票委員の過半数以上 (12 票以上) である 22 票の投票を得た小溝裕一候補が選任された。

<投票内訳>

委員 24 名中

小溝 裕一 候補 : 22票
飯田 英男 候補 : 1票
不 投 票 : 1票

(2-4)配管減肉分科会活動状況報告

[資料 4-5]

前回の第3回配管減肉分科会(2010年7月16日開催)以降の分科会活動状況についてまとめたものを事務局より報告した。

＜特記事項＞

- ・2011年4月4日に火力設備配管減肉管理技術規格(2009年版)のエンドース文書発出。

(3) 審議事項

(3-1)火力設備配管減肉管理技術規格(2009年版)の改定について

[資料 4-6]

火力設備配管減肉管理技術規格(2009年版)が2009年7月31日に出版されており、専門委員会運営規約第2条第1項第3号に少なくとも5年毎に規格改訂新版の案を策定することとなっており、それを踏まえて当該規格の改訂作業を進めることが井手委員(主査候補)より方針として示された。改訂作業にあたり、作業分担と作業方法について説明され、審議の結果、提案の通り承認された。

＜特記事項＞

- ・来年7月までを目途として改訂版原案を策定する方針。
- ・各担当分のファイルをファイル共有システムの規格出版原稿閲覧室よりダウンロードすること。
フォルダ場所:火力専門委員会/TB1 配管減肉管理技術規格/2009年版
- ・ダウンロードしたファイルにワード等の編集履歴機能を利用し変更履歴を残すこと。
- ・編集したファイル名は以下の例に対応したルールとする。
本文(関電)20131114.doc(レビュー対象名+(会社名)+西暦年月日)
- ・JISの最新年版の確認対象は現時点での最新年版とする。
- ・規格出版原稿閲覧室にある原稿ファイルは最終版であり商品としての規格そのものであり、委員の作業用に特別に提供しているものであることをご理解頂き、各職場での業務利用の閲覧、紙コピーや電子データの不用意な取扱による流出が発生しないよう取扱には留意して頂くこと。
- ・新たな高減肉事例の取り入れについては電事連に確認する必要があるが、現在電事連が正式に回答できるのは部長会議後の6月であるため、今回のスケジュールとの関係については別途調整が必要。
- ・用語の統一をはかるための用語集等のルールについて既存の発電用火力設備規格側との関係を確認する。(井手委員)

(3-2)新規提案について

[資料 4-7]

富士電機株式会社の東氏より新規提案として放射線透過式配管厚さ測定装置について技術的な説明がなされた。

本件については今回の改訂作業時の取り込み可否も考慮して12月20日を期限として各委員からのコメントを集約することが出席委員全員の賛成により承認された。

6. 次回開催予定

日 時:2014 年 2 月 7 日(金)13 時 30 分～17 時 00 分

場 所:日本機械学会 第3・4会議室

以 上